

2005 年 ISAF 年次総会報告

< Women's Sailing Committee, Youth & Development Committee >

国際委員会
委員長 戸張房子

Women's Sailing Committee ウィメンズ・セーリング委員会

1. ISAF は来年度までに Strategic Plan (戦略計画) を作成する。それを受けて、ウィメンズ委員会では話し合われたことは以下の通り:

IOC は 2005 年までに各国際スポーツ連盟の役員の内 20% を女性にするようにと勧めている。ISAF はその基準を満たしているが、各 MNA の中ではどうなっているのか ISAF がアンケート調査する。

各 MNA、クラス協会に女性セーラーの人数、割合、大会への参加数についてアンケート調査する。

女性がセーリングを始めるのを阻害するような文化・競技体制・艇種、といった原因について調査する。

ISAF の WEB サイト (Women's Sailing Web Site) をもっと活用し、女性セーラー育成に役立つようなものとする。

IJ、IU、IRO などに女性がまだ少ないので、女性を対象としたトレーニングを考える。

第 4 回世界女性スポーツ会議 (1994 年イギリス・ブライトンが第 1 回、毎 4 年ごとに関催) が 2006 年 5 月熊本で開催される。国連・ユネスコ・IOC も強力している「女性とスポーツのあり方」を話し合う会議であり、ISAF 代表として戸張に出席の要請あり。

Youth & Development Committee ユース育成委員会

1. Connect to Sailing

世界的に子供達にもっとセーリングを始めてもらい、結果としてセーラーを増やすプロジェクトとして 3 年目に入った 'Connect to Sailing' 計画についてより具体的な方策が話し合われた。

このプロジェクトの国際的認知度をあげる

各 MNA にもっと強力してもらう

各国単位でのプロジェクトを作成する

プロジェクトのスポンサーを獲得する

資金不足で主要大会に参加できない優秀なセーラーへの補助

また、具体的な話として、アジア、アフリカの国では艇数が少ない上にスパー、セール、備品が非常に高価でかつ手に入らない状態にある。これを援助するために、いろいろなセールなどを贈る運動をしよう、ということが話しあわれた。

万博セーリングシリーズの中で開催された OP の大会で、日本で使わなくなった OP の古いセールをミャンマーに贈る運動が起きたという話をしたが、日本がアジアでのリーダーシップを保持するためにはこうした動きを絶やさずに進めていく必要があることを実感した。